

## 16年ぶりの物価高

8月も後半になって朝夕涼しくなり、秋の気配を感じるようになりました。高校野球は大阪代表の大阪桐蔭高校が、大阪代表及び同校の17年ぶりの全国制覇を飾りました。ここ数年の大阪代表は低迷が続き、優勝から遠ざかっていましたが、大阪に元気と勇気を与えてくれるきっかけになればと思います。

北京オリンピックでは、期待された星野ジャパンは残念ながらメダルなしの4位に終わりました。信じられないようなエラーや、金縛りにあったように打てない打線を見ていると、国際大会での重圧のものすごさを感じました。日本選手のメンバー24名の年棒総額は40億円ともいわれ、金メダルの韓国選手は、4番で巨人所属の李承ヨプの年棒6億円は別格として、他の選手の年棒の平均は2,000万円弱で、2度の日本戦に先発した金 廣鉉 投手は若干20歳で、年棒はわずか400万円。日本代表選手が北京市内の高級ホテルの個室に宿泊していたのに対し、韓国代表は選手村で相部屋に泊っていたそうです。

結果だけみれば、一部報道があったような「ひ弱でセレブな日本野球」と言われても仕方がないような状況だと思います。ハングリー精神という意味では、韓国の方がはるかに上回っていたのではないのでしょうか。審判のストライクゾーンやボールの違い、午前からの試合開始など、言い訳はいくらでもあります。相手も条件は同じのはず。異なる環境にもすぐに切り替えて対応すべきは高給とりのプロではないのでしょうか。

いずれにしても、各自の実力を発揮できなかった、不完全燃焼に終わったのは、準備不足とメンタル面に問題があったと思います。来年3月に行われる第2回ワールド・ベースボール・クラシック(WBC)では、前回同様優勝し、日本のほんとうの実力を発揮して、今回の雪辱を果たしてほしいと思います。ところで、誰が監督をするのかも注目ですが・・・。

さて、7月の消費者物価指数が発表されましたが、前年同月比で+2.4%と1997年に消費税率を3%から5%に引き上げられた年度を除くと16年ぶりの高い伸びとなりました。原油や食料品の値上げの影響が大きいのですが、思えばこの伸び率は1997年消費税の2%アップに匹敵する伸びで、消費税率引き上げの議論はとて出来るような状況ではないともいえます。原油については少し落ち着いているので、ガソリンも来月には5円/ℓ程度下がる見込みですが、この1年で約30%値上がりしている状況では、もっともっと下がらないとまだまだ家計への影響は大きいです。

その原油高や食料品高などに対応するために、政府は総合経済対策の骨格を固めました。高速道路の通行料を一部半額にするなどが盛り込まれるようです。今年の年末から来年1月位とうわさされる衆議院選挙に向けての対策という面もあるかと思われます。国民受けするのに一番手っ取り早いのがバラマキではありますが、過去のバラマキが財政悪化を招いた要因でもありますので、目先の人気取りよりも、メリハリのある対策でないと効果は低いと思います。

経済対策に盛り込むかどうかの焦点になっていた個人向けの定額減税については、実施することが決定されました。実施時期や規模など具体的な内容は明らかになっていませんが、サラリーマンの場合は今年の年末調整で、個人事業者は来年の確定申告において何らかの税額控除が実施されるのではないかと思います。

ところで、厚生労働省でまたミスがありました。労働保険料の第2期分の保険料の納付期限が本来9月1日なのですが、納付書の作成ミスにより、納付書の各事業所への到着が9月中旬頃になるので、9月30日に納付期限が延長されるとのこと。納付書の再印刷代や遅れる旨の通知書の作成費用や送料、ムダな作業の件費などを考えると、相当な税金が費やされることとなります。これは、担当者が納付書を機械で読み取れるかどうかの検査を怠った結果生じた事態で、開いた口がふさがりません。年金問題などや相次ぐ不祥事で揺れる厚生労働省と社会保険庁の解体的出直しを行うのが、国民の将来不安を取り除く為の効果的な経済対策になるのかも知れません。